

レポート

平成19年度一般会計・特別会計・企業会計の各補正予算や条例の制定・一部改正などの議案を各常任委員会で審査しました。



浅川井線に設置されている大型標識看板

まだ全てではない。浅羽町の標記が残っているものについて、現在、各担当課で調査をしており、今年度中にシールを貼るなどして直す小型のものがまだある。大型のものも若干残っており、今年度または来年度の予算で直していく。なお、ひらがなであさばが標記され、町がついていないものについては、浅羽地域、浅羽地区という考え方に基づき、修正の計画には入っていない。

国道150号線と市道浅川井線にある大型標識看板「あかるくさわやかに羽ばたく町 浅羽町」を修正することだが、合併により書き直す看板は、これで全て終わるのか。

総務文教委員会

保健師以外の一般職は採用を見合わせた。合併協議会の協定書の中で、幼稚園の教員、保育士等を除いた一般職は、退職者の3割補充ということになっているが、退職者が定員適正化計画の削減予定数を下回る見込みとなっていることから、その他の一般職は採用しなかった。

今年度の一般職の退職者は17人で、来年度の一般職の採用は、保健師3人とのことだが、それ以外は補充しないのか。

総務文教委員会

地方公務員の育児休業に関する法律の改正に伴って、育児短時間勤務制度が導入されるが、育児休業や有給休暇等の現行制度は充分活用されているのか。また、病院の看護師など特殊な勤務形態における育児短時間勤務制度の実効性はどうか。

総務文教委員会

女性の育児休業はほぼ100%取得されており、看護師も期間の長短はあるが同様である。変則勤務の職場で育児短時間勤務制度を利用するには、一層の調整が必要になる。

平成19年4月からあさば保育園が認可保育所となったが、待機児童の人数はどの程度か。待機児童は、人数の問題とともに地域における偏りの問題はないか。

民生福祉委員会

待機児童は、あさば保育園が認可される前の平成18年10月には32名ほどであったが、平成19年4月には42名、同年10月末には56名と増えている状況である。

保育所はこれまで民間主導で動いてきた経過があり、土地確保等の関係で市内中心部に園が少ない状況がある。このため、乳幼児の転入者が多い南地区、市北部の山梨地区や市内中心部に待機児童が存在しており、引き続き地域による偏りは出ると考えられる。

後期高齢者医療制度に係る電算システム委託料600万円の内容は。

民生福祉委員会

後期高齢者医療制度の創設に伴い、これまで国保に加入していた者の一部が後期高齢者医療制度に移行されるが、国保を継続する市民がこれまでと同じように、国保税の軽減措置を受けられるよう、国保税資格管理に関わる電算システムを修正するための委託料である。